

平成30年度みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体取組紹介

【保育所・幼稚園部門】

1 村田町立沼 ^{ぬま} 辺幼稚園	
取組名	げんきいっぱいぬまベっ子
<p><取組の内容></p> <p>年間を通して縦割りでの遊びを実施し、異年齢で交流できる環境づくりを行っています。また、村田町教育委員会、村田町役場農林課、JA仙南村田店等と連携し、地域のボランティア団体（笑楽寿来様）にお手伝いをいただき、野菜の栽培・収穫体験や調理体験などの食育活動を行っているほか、歌遊びを通して食べ物と体の関係を学ぶ機会を創出しています。夜寝る前に親子で読み聞かせを行うことを目的とした、絵本の貸出しも行っていきます。</p> <p><取組の成果></p> <p>自ら進んで戸外で遊ぶようになり、日常的に体力の向上が図られているほか、思いやりの気持ちや協力する大切さなど、よりよい人間関係の育ちが感じられます。食育活動では、食への興味が持てるようになり、苦手な食べ物に挑戦する園児の姿が見られるようになりました。また、食材や体への関心が食欲増進につながり、残食が減ってきています。</p>	
2 気仙沼市立か ^か やの実保育所	
取組名	かやの実っ子、げんきだもん！
<p><取組の内容></p> <p>ルルブル・エコチャレンジシートを活用し、家庭と連携して規則正しい生活習慣定着のための啓発を行いました。食育面では、野菜の栽培・収穫やクッキング保育、毎月19日前後に行う集会等を実施しているほか、ブルーベリーの摘み取り体験、野菜の苗の買い付けなど、様々な活動に楽しみながら取り組んでいます。さらに、中高生や地域の人たちと連携し、ボランティア活動や職場体験学習などを行っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>ルルブル・エコチャレンジの取組中に実施した保護者アンケートでは、早く寝ることの大切さを実感したという回答が多く見られ、各家庭への意識付けのきっかけとなりました。野菜の栽培・収穫では、活動を通して苦手なものでも少しずつ食べようとする子どもの姿が毎年見られており、保護者からは、食への興味が広がったとの報告があります。また、中高生や地域との交流を大切にすることで、入室時や来客時など、誰にでもきちんと挨拶ができるようになってきています。</p>	

【保育所・幼稚園部門】

こいずみ 3 気仙沼市立小泉幼稚園	
取組名	「目指せ！ゆたかな心・健康でたくましい小泉キッズ」～ 食べて 動いて よく寝よう ～
<p><取組の内容></p> <p>園児の生活実態把握をするとともに、保護者がより良い生活習慣に気づくきっかけとするため、月初めに「はやね・はやおき・あさごはん」のカレンダーを配布しているほか、ルルブル・エコチャレンジシートを活用し、啓発を行っています。また、JA南三陸農協と連携し「栽培教室」を実施し、自分で育てて食を楽しむ工夫をしています。さらに、毎週水曜日に「わくわくお散歩保育」を実施し、地域性を生かした自然とのふれあいや戸外活動を充実させています。</p> <p><取組の成果></p> <p>園児が「はやね・はやおき・あさごはん」を口にする姿が見られ、家庭における意識改革に徐々につながりつつあります。栽培教室を通じては、自分たちで野菜を育てたり、野菜や畑について学んだりする機会を持つことで、食に関する興味・関心が深まっています。また、「わくわくお散歩保育」の定着により、車で登降園していた園児が、天候に応じて親子で歩いて登園する姿が見られるようになりました。</p>	

【小学校・中学校部門】

しちかしゆく 4 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校	
取組名	健やかで たくましい 七っ子の育成 ～しっかり食べ、よく運動する～
<p><取組の内容></p> <p>全校児童が食堂に集まり、縦割り班ごとに給食をとる「全校給食」を実施しています。食事が終わる5分前からは会話をやめて食べることに集中する「もぐもぐタイム」を設け、残食を減らす工夫をしているほか、栄養教諭による食事のマナーや七ヶ宿町の食材をテーマにした指導も行っています。また、4月から10月まで週4回実施している「業間マラソン」は、悪天時もアスファルトコースや体育館を活用して取り組んでいます。自己目標を設定してカードに記録するほか、目標達成者には表彰を行っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>「もぐもぐタイム」の取組により、3年連続で残食量の減少を達成し、児童アンケートにおいても、「苦手な食べ物でも努力して食べるようにしている」と回答した児童の割合は100%です。食事のマナーについては上学年が下学年の良い手本となり、声を掛けて下学年を導く姿が見られるようになりました。また、「業間マラソン」を実施していることにより、平成29年度に行った体力・運動能力テストの20mシャトルランでは、全学年において全国平均を大きく上回ることができました。</p>	

【小学校・中学校部門】

5 角田市立西根にしね小学校

取組名 じっくり笑顔でしっかり学ぶねばり強い西根っこ みんなでルルブル、心も体も健やかに

＜取組の内容＞

家庭と連携し、規則正しい生活習慣を定着させるための「いきいき生活ウィーク」を実践するとともに、低学年はルルブル・エコチャレンジに取り組んでいます。食に関する取組では、東京都の目黒区立月光原小学校と交流しながら稲作体験をしているほか、栄養士・養護教諭による指導等を行っています。また、縦割り遊び・縦割りリレー・花の栽培活動などの縦割りの活動を定期的実施しています。

＜取組の成果＞

朝食をしっかり食べて登校する児童や就寝時刻を意識するようになった児童が増え、欠席率も低くなりました。稲作体験では、たくさんの苦労があってお米が収穫できることを知り、残さず食べようとする意識が高まり、よく噛んで給食を味わったり、好き嫌いせずたべようとしたりする児童の姿が定着してきています。また、休み時間でも異年齢同士で遊んだり、上級生が下級生をリードしたりするなど、仲良く過ごす姿が多く見られ、運動会等で素晴らしいチームワークを披露しています。

6 山元町立山下第二やましただいに小学校

取組名 ゆたかなめぐみ ㊦まとうみ ㊧すます ㊨ここにこ 山二の子

＜取組の内容＞

長期休業明けに「早寝・早起き・朝ごはん週間」を設け、チェックカードを使った取組で規則正しい生活習慣の意識化を図っています。今年度から校地外に借用した畑では、学年ごとに好みの野菜等を栽培・収穫しています。また、地域住民との餅つき体験や芋煮を通じた交流や、はらこめし作りやいちご栽培を地元のプロから学ぶ体験などを行っています。さらに、縦割り遊びやあいさつ運動のほか、「つばめの杜公園管理会」と連携し、つばめの杜公園の清掃活動に取り組んでいます。

＜取組の成果＞

児童や保護者から「時間を意識しながら生活できた」との声が寄せられ、チェックカードの回収率も100%でした。食に関する取組では、様々な作物を自分たちで大切に育て、調理して食べたことを食育の授業に結びつけ、食の大切さを学びました。また、地元の特産を味わうことで、自分たちの暮らす町の良さを理解するとともに、「食」に関する人々の思いについても学ぶことができました。さらに、6年生が進んで下級生の面倒をみる姿や、元気な声であいさつができる児童が増えたほか、清掃活動により、普段から遊び場として使う公園を大切に使うようになりました。

【小学校・中学校部門】

7 涌谷町立^{のだけはくさん}箕岳白山小学校

取組名 めあてに向かって粘り強く取り組む「箕白っ子」

＜取組の内容＞

「生活チェックカード」を定期的に活用し、集計結果等を家庭に周知して、生活習慣の改善を図っています。食に関する取組では、給食の時間にその日の食材の地場産品と生産者を児童が放送で紹介しているほか、自分たちで栽培・収穫した米や野菜を使った料理を地域の方と一緒に食べる「みのり祭り」を開催しています。また、「みのり祭り」でも披露した「箕白よさこい」の練習や、朝の活動時間に行う「全校遊び」などで上学年と下学年の交流の機会を設けているとともに、「業間運動」として、通年で持久走と長縄跳びに取り組んでいます。

＜取組の成果＞

給食においては、感謝の気持ちを持って食べることができており、「みのり祭り」は、今年度は残念ながら中止となり、全校児童だけでしたが、収穫の喜びを味わうことができました。「箕白よさこい」は、心を一つにして踊る一体感や、伝統を引き継ぐ愛校心を高めるものとなっており、練習においても上学年が下学年に丁寧に踊りを教える姿が見られました。また、「業間運動」で運動の日常化を図ってきたことで、自由遊びの時間にも積極的に外に出て遊ぶ児童の姿が増えているとともに、体力運動能力テストの結果も県平均を大きく上回る項目が多数見られます。さらに、縦割り班での「全校遊び」を通して、上学年児童には自主的な活動の企画・運営を通じた主体的な態度が育ち、下学年児童には相手を思いやる気持ちや社会性が育っています。

8 美里町立^{なかぞね}中塚小学校

取組名 夢（志）に向かってチャレンジ ～ きらり ルルブル 中塚っ子！ ～

＜取組の内容＞

「学習・生活習慣調査」を年6回実施し、自分の生活について振り返る機会を設けるとともに、「中塚小スタンダード」や学校だより等で睡眠の大切さに関する理解と改善を図っています。また、農作物の栽培体験や、月ごとに誕生日を迎えた児童を全校児童でお祝いしながら楽しく会食する「バースデー給食の日」の設定など、食に関する取組や啓発も多数行っています。さらに、全校での「縦割り運動」、昔遊びや児童会主催の「わかくさ祭り」などの活動を通して、異学年同士、お年寄りや保護者、幼保の園児との交流を図っているほか、あいさつ運動、募金活動、ボランティア活動にも進んで参加しています。

＜取組の成果＞

調査の実施により、生活習慣への意識の高まりはもちろんのこと、遅刻や欠席が少なくなり、睡眠時間8時間以上の目標も、全学年で達成できています。食育指導等は給食における残食量の減少につながっており、生産者や作り手への感謝の気持ちが育っているとともに、自分たちで育てた米や野菜を食べることにより、好き嫌いせず食べるようになってきました。運動についても、休み時間に互いに誘い合って外で遊ぶ子どもが増えているので、体力・運動能力調査ではほとんどの種目で全国平均を上回っています。また、お年寄りとの交流やあいさつ運動等を通じて、社会性や規範意識の向上、互いに助け合う心の育成につながっています。

9 石巻市立^{やました}山下小学校

取組名 「たべて うごいて よくねよう」

<取組の内容>

「やましたノーテレビチャレンジ」の機会を設定し、規則正しい生活習慣の大切さを児童・保護者に呼びかけるとともに、休み明けの保健指導や掲示物による啓発を通年で行っています。また、栄養教諭や栄養士による食育指導や、学年PTAにおいて親子料理教室を実施し、バランスの取れた食事について考える機会を設けています。基礎体力向上への取組として、チャレンジカードを活用したマラソン・縄跳び活動を実施しているほか、業間と昼休みの時間を確保し、外遊びの推進について工夫しています。また、児童会が中心となってあいさつ運動に取り組み、地域においても積極的にあいさつできるように呼び掛けています。

<取組の成果>

保護者から「テレビを消して親子の時間が楽しく過ごせた」などの感想が寄せられ、次のチャレンジに意欲になる児童が増えてきました。食育指導は、偏食の多い学年における給食の残食減少や、バランスの取れた食事の大切さへの気付きにつながっています。また、親子料理教室後に児童が作った食事を保護者に試食してもらう宿題を出すなど、事後につなげる活動を行うことで、保護者の意識の変容が見られます。さらに、チャレンジカードを活用したマラソン等の取組により、指定時間以外でも意欲的に取り組む児童が増えるとともに、児童同士が積極的にかかわる機会が増え、基礎体力の養成につながっています。

10 登米市立^{きたかた}北方小学校

取組名 北方の里「合宿通学」

<取組の内容>

学校に隣接する公民館に4～6年生児童が3泊4日で宿泊をし、学校に通学する「合宿通学」を実施し、食事の配膳や片付けなどを体験するとともに、学校運営協議会や登米市食生活改善推進員協議会等と連携しながら、はっかつみ体験やおにぎり作りを行いました。また、佐沼高校の生徒等の協力により、ジュニアリーダーとのレクリエーション活動、ドラム缶風呂体験、星の観察会などを実施し、家庭や地域との連携を図っています。

<取組の成果>

ゲームのしすぎなどにより不規則な生活習慣にあった児童に変容が見られるようになりました。また、家庭における料理作りへの関心が高まったとともに、保護者から、家庭において食事の片付けの手伝いをするようになった等の報告がありました。さらに、本事業を通じて家族や地域の方への感謝の気持ちが育まれ、地域の方と定期的に行っているあいさつ運動において、これまで以上に積極的にあいさつをする児童の姿がみられるようになりました。

11 気仙沼市立^{なかい}中井小学校

取組名 **なかよく話し、かくじつに努力を続け、いつも元気な 中井小学校**

<取組の内容>

早寝早起きやノーメディア・ノーゲームデーを設定した「中井スタンダード」、長期休業中の生活カレンダー、ルルブル・エコチャレンジシート等の活用により、よい生活習慣の定着を図っているほか、かみかみメニューコンテスト、かみかみ献立、ふれあい給食、あいうべ体操等の食育活動、元気アップタイムで楽しく体を動かす活動を行っています。また、たてわりでの給食、清掃、遊び等による異学年交流や地域の方々との交流会も実施しています。

<取組の成果>

家族で協力して取り組む様子が見られ「団らんの時間を多く持つことができた」等の感想が聞かれるとともに、長期休業中も早寝・早起きを継続することで休み明けの学校生活にスムーズに適応できています。また、家庭でもよく噛んで食べることを心がけるなど、食生活や歯・口の健康に関する意識向上につながりました。さらに、たてわりでの交流を行うことで休み時間にも異学年同士で外遊びを行う様子が見られるほか、地域の方々との交流により思いやりや感謝の気持ちが育っています。

12 仙台市立^{しょうりょう}松陵中学校

取組名 **自己を見つめ、より良く生きようとする生徒の育成～豊かな心と健やかな体を育む教育の実践を通して～**

<取組の内容>

保健だより等による啓発や文化祭での掲示など、生徒や保護者の健康意識を高められるよう、日常的に情報発信を行っています。また、食育については、毎日の「ランチメール」の発行や、給食に関する各種行事等、食に関する取組に力を入れています。保健指導や食に関する指導の取組に活かすための一助として、生活習慣・食習慣に関する実態調査も実施しました。

<取組の成果>

実態調査や健康相談等の機会を多く設けることで、生徒の抱える心身の健康問題だけでなく、家庭の背景も把握することができ、それにより、一人一人に応じた生活習慣改善の指導に生かすことができています。食に関する取組においては、好き嫌いや栄養バランス等、生徒の間で食を肯定的に捉えた話題が増え、食に関する意識の高まりが見られます。

13 登米市立南方中学校 みなみかた

取組名 『あたりまえのことをあたりまえに』～基本的な生活習慣の定着を目指して～

<取組の内容>

南方中学校区の幼稚園、小・中学校の各PTAと連携し、毎月1日に「ノーマディアデー」の取組を実施するとともに、合同研修会を開催しています。また、給食時の栄養指導や、家庭科担当教諭と栄養教諭の連携による授業の実施により、食に関する啓発を行っています。さらに、生徒会主導でのあいさつ運動、地域ボランティアと連携した「民謡教室」や「礼法指導」のほか、部活動の壁を越え、合同で体力づくりを行う冬季一斉部活動を実施しています。

<取組の成果>

「ノーマディアデー」の取組により、保護者からは「家族団らんの時間ができた」等の声が聞かれています。また、食に関する取組により、以前より地域食材や郷土料理などに興味・関心が増え、食材に関する話題も増えています。あいさつに関する取組では、地域住民や公共施設の方から「あいさつが立派ですね」と褒めいただくことが多くなりました。

14 明治安田生命保険相互会社仙台支社 めいじやすだせいめいほけん

取組名 子どもの健全育成のための「地域防犯冊子配布活動」および「サッカー教室の開催」

<取組の内容>

宮城県警がメルマガ配信している「宮城セキュリティーメール」の情報を冊子にし、子どもの犯罪被害の注意喚起及び防犯を目的とし、地域に配布しています。また、ベガルタ仙台協力のもと、小学生を対象とした「サッカー教室」を年2回開催し、体を動かし汗をかき食事を摂取するという一連のサイクルの大切さを学ぶ機会としています。サッカー教室の実施に当たっては、震災被災地での開催を今後も積極的に行っていく予定です。

<取組の成果>

防犯冊子配布活動は「親子間で防犯に関する会話が增えた」「町内会で冊子を回覧し、地域みんなで子どもを犯罪から守る活動を始めた」などの反響があったほか、宮城県警から本件について感謝状を授与されるとともに、河北新報にも掲載されました。サッカー教室の取組においては、サッカー経験のない子どもからも、「体を動かして楽しかった」等の声が聞かれたほか、参加者から「親子の会話が增えた」等の感想が寄せられています。